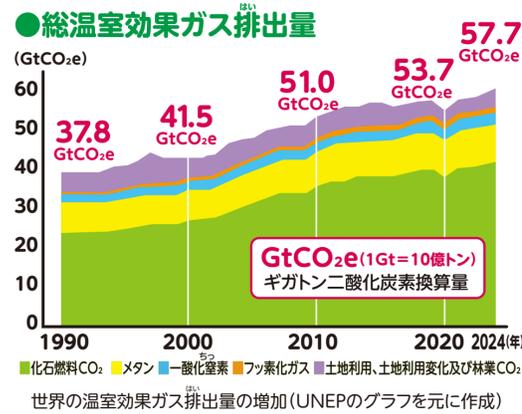


# 未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ～カーボンハーフ～

## 2030年カーボンハーフに向けた取り組み ～今、わたしにできること～

### ●今も増え続ける温室効果ガス排出量

国連環境計画(UNEP)が2025年11月に発表した「排出ギャップ報告書2025(EGR2025)」によると、2024年の世界の温室効果ガス排出量は、前年よりも2.3%増え、過去最高となりました。このまま排出量の増加が続いた場合、地球温暖化対策の国際的な枠組み「パリ協定」において各国が提出した削減目標(NDC)を達成したとしても、今世紀末までに、気温は産業革命以前より、2.3～2.5℃上昇することが予測されています。さらに、対策を強化しなければ、最大2.8℃上昇する可能性もあると、UNEPは警告しています。今まで以上の地球温暖化防止対策が求められています。



地球温暖化は、一つの国だけでは解決できない問題だね。国際的な協力体制にはどのようなものがあるのかな。



### ●気候危機の深刻化

世界的な気候変動の影響により、これまでに経験したことのない猛暑や豪雨、台風の強大化、それに伴う自然災害の発生、熱中症リスクの増加や農作物の品質低下などが地球全体で生じています。

近年は、日本でも台風や豪雨による自然災害が頻発しており、河川の氾濫による浸水や土砂崩れなど、甚大な被害が発生しています。

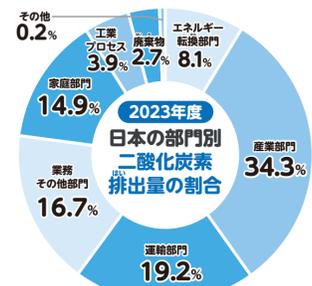
このまま地球温暖化が進むと、異常気象や自然災害、農作物への悪影響などが深刻化してしまうね。



### ●日本の現状

日本は、温室効果ガス排出量を2030年度に2013年度比で46%削減、2035年度に60%削減という目標を掲げています。しかし、UNEPは報告書の中で「日本の現行対策で目標に近づくものの、わずかに届かない」と予測しています。

日本の二酸化炭素排出量(電気・熱配分後排出量)を部門別の割合で見ると、工場などの産業部門が34.3%と最も多く、次に自動車などの運輸部門が19.2%となっています。家庭部門は14.9%となっていて、削減目標を達成するためには、各家庭での取り組みも欠かせないことがわかります。



温室効果ガスの排出量の削減をさらに進めるには、どのような対策が必要なのだろうか？



### ●カーボンハーフに向けた取り組み

東京都は2030年までに温室効果ガス排出量を2000年比で50%削減する「カーボンハーフ」を表明しています。この目標を達成するためには、市民、企業、行政など、「みんながそれぞれ、今から、半減に取り組んでいくこと」が不可欠です。

取組の例	ライフ	ビジネス
省エネルギー エネルギー効率の向上	●省エネ家電の利用 ●住宅・居室の断熱化	●建物の脱炭素化 ●ゼロエミッション地区開発の促進
再生可能エネルギー 設備設置・電力利用	●太陽光パネルの設置と自家消費 ●再生可能エネルギーの選択	●非ガソリン車の開発・供給・販売 ●事業活動で使う電力の100%再生可能エネルギー化
省資源・再生資源の利用など	●家電のリサイクル	●省資源化・再生資源利用の拡大

太陽光パネルをつけた家  
東京都の水素バス (出典: Tokyo 水素ナビ)

### ●今、わたしたちにできること

地球温暖化がこれ以上進まないようにするために、今、わたしたちにできることを見つけて、行動していきましょう。

<h4>エネルギー利用を 考えてみる</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>●継続した省エネルギー・節電の実践</li> <li>●再生可能エネルギーの選択</li> </ul>	<h4>住まいを 考えてみる</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>●住宅の断熱化</li> <li>●太陽光パネルを取り付ける</li> <li>●住宅緑化を行う</li> <li>●省エネ家電を使う</li> </ul>	<h4>普段の移動 を考えてみる</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>●徒歩・自転車・公共交通機関を優先して選ぶ</li> <li>●走行時に二酸化炭素を排出しない電気自動車や燃料電池自動車などを使う</li> </ul>
<h4>行動を自分で 判断する</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>●必要なものを必要なだけ買う</li> <li>●フードロスを出さない</li> <li>●ごみを減らす</li> </ul>	<h4>学び、参加し、 発信する</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>●文化祭や学校行事に環境テーマを取り入れる</li> <li>●地域の環境ボランティアや環境イベントに参加する</li> </ul>	<h4>未来の視点 をもつ</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自分の進路と「環境」や「エネルギー」の関係を考える</li> <li>●地域や社会のために自分ができる役割を考える</li> </ul>

HTT(電力をHへらす・Tつくる・Tためる)もカーボンハーフに向けた取り組みだね。



### 考えてみよう・・・

カーボンハーフの達成に向けて、どのような社会の仕組みや取り組みが必要か、考えてみましょう。また、CO<sub>2</sub>排出実質ゼロを達成したとき、東京都がどのような都市になっているか、話し合ってみよう。

### 調べてみよう

気候変動の現状と影響について調べてみよう。

だつ 脱炭素ポータル [環境省]

[https://ondankataisaku.env.go.jp/carbon\\_neutral/](https://ondankataisaku.env.go.jp/carbon_neutral/)

### 気候危機行動ムーブメント「TIME TO ACT」

気候危機に対する東京都の取り組みを調べてみよう。

[東京都環境局]

[https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/policy\\_others/international/time-to-act](https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/policy_others/international/time-to-act)